

2020年 6月 吉日

各高等学校長殿
各中学校長殿
各クラブ代表殿
各所属長殿

むつ市陸上競技協会
会長 宮本久志
(公印省略)

第40回むつ市春季陸上競技選手権大会兼第39回青森県小学生 交流陸上競技記録会むつ下北地区予選会開催について

新緑の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当協会事業につきましては、格別の御理解、御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は、未だ大会の開催がなく練習の成果を発揮できる場を作りたいと大会開催を決定いたしました。

開催につきましては、日本スポーツ庁、県スポーツ協会、むつ市体育協会からの通達に倣い、ガイドライン及びチェックリストを作成し徹底した感染拡大防止対策を施し行いたいと思っておりますので、スポーツ振興の意味から是非貴職のお取り計らいを賜り、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

開催日程	2020年 7月4日(土)・5日(日)
開催場所	むつ運動公園 陸上競技場
開催要項	別紙(6月8日むつ市陸上競技協会ホームページに掲載)
参加申込	別紙(中学校・高校はこちらからメール送信) (クラブ・一般参加は、ホームページ掲載)
ガイドライン	別紙(ホームページへ掲載遵守をお願いいたします。)
チェックリスト	別紙(各団体は参加選手へ配布、大会当日回収保管後ご参加をお願いいたします。)

【お問い合わせ・新型コロナウイルス感染等の報告先】

むつ市陸上競技協会

競技委員長 甲 田 義 人

携帯電話 090-2360-5106

第40回むつ市春季陸上競技選手権大会
兼 第39回青森県小学生交流陸上競技記録会むつ下北地区予選会

大会要項

1. 主催 　むつ市陸上競技協会
 2. 後援 　むつ市教育委員会
 3. 主管 　むつ市陸上競技協会
 4. 期　日 　2020年7月4日(土)～5日(日)
 　　　　　開会式 午前9時00分 競技開始 1日目、2日目ともに午前9時30分
 5. 場　所 　むつ運動公園陸上競技場
 6. 種　目 　1日目に下線部の種目を実施する。
 　　　　　小学生の部 　競技はすべて2日目

種　目	参加資格	種　目	参加資格
4年100m	4年生	共通 80mH	4・5・6年生
5年100m	5年生	共通 走高跳	4・5・6年生
6年100m	6年生	共通 走幅跳	4・5・6年生
共通 200m	4・5・6年生	共通ジャベリックボール投	4・5・6年生
共通 1500m	4・5・6年生	4×100mR(男子-女子)	5・6年生

中学男子の部 　中学100m 　中学200m 　中学400m 　中学110mH 　中学円盤投
 　　　　　　　　中学砲丸投 　ジャベリックスロー

高校男子の部 　高校円盤投 　高校砲丸投 　高校ハンマー投

男子の部 　100m 　200m 　400m 　800m 　1,500m 　3,000m 　5,000m 　110mH
 　　　　　　400mH 　4×100mR 　4×400mR 　走高跳 　走幅跳 　三段跳 　棒高跳
 　　　　　　円盤投 　砲丸投 　やり投 　ハンマー投

中学女子の部 　中学100m 　中学200m 　中学400m 　中学100mH 　中学円盤投
 　　　　　　　　中学砲丸投 　ジャベリックスロー

女子の部 　100m 　200m 　400m 　800m 　1,500m 　3,000m 　100mH 　400mH
 　　　　　　4×100mR 　4×400mR 　走幅跳 　走高跳 　三段跳 　棒高跳 　円盤投 　砲丸投
 　　　　　　やり投 　ハンマー投

7. 参加資格 　① 日本陸上競技連盟公認大会にて、出場する競技者は2020年度青森陸上競技協会選手登録者に限る。ただし、小学生はクラブ募集で県登録の必要はなく、申込ができる。
 　　　　　　② むつ市、下北郡、横浜町に居住通学及び通勤している者、並びに同地区の出身者とするが、新型コロナウイルス感染防止のため青森県外在住の方のご参加はご遠慮下さい。
8. 出場制限 　① リレー種目を除き、1人3種目以内とする。また、小学生は、1人1種目とする。
 　　　　　　② リレー種目は、各所属団体に所属する競技者にて編成し、各3チーム以内とする。
 　　　　　　③ 中学高校と区分されている種目は、競技者の該当する種目のみ出場でき、他の同類の種目には出場できない。
9. 表彰 　各種目とも1位には賞状とメダル、2位から8位までは賞状を授与する。
10. 申込要項 　団体申込 　団体登録された各所属団体にメールで送信する所定の申込ファイルに必要事項を

入力してメールにて申し込むこと。

個人申込 むつ市陸上競技協会ホームページ (<http://www.mutsu-rk.jp/>) 掲載の申し込み
ファイルに必要事項を入力してメールにて申し込むこと。

小学申込 むつ市陸上競技協会ホームページ (<http://www.mutsu-rk.jp/>) 掲載の申し込み
ファイルに必要事項を入力して申し込むこと。

11 申込先 メールアドレス mutsu-ch@mutsu-rk.jp

※ 送付したメール件名、申込ファイルの変更をした場合、並びに、申込ファイル以外での
申込は受付できません。

12 申込期限日

2020年6月8日(月)～2020年6月18日(木) 15:00まで
電磁的に自動的に番組編成が行われるので、18日(木)15:00以降は一切無効と
なる。

13. ナンバーカード 2020年度の青森県選手登録のアスリートビブスを使用する。

14. 参加料 1人1種目につき、一般1,000円、小中高生700円、リレーは1チーム1,000円とする。

※ 新型コロナウイルスの事情により、事前の入金は行いません。

大会開催時、当日の朝、受付に納めてください。

※ さまざまな事態により中止となった場合は、参加料は頂きません。

15. 競技順序 昨年度の競技順序に準ずるが、エントリー数等により決勝タイムレースとすることもある。ま
た、小学生のトラック種目は、すべて決勝タイムレースとする。又、フィールド種目は、3回
のみの試技とする。

※ 競技順序のホームページへの掲載は、6月26日(金)頃の予定である。

16. その他 ① 青森陸上競技協会選手登録は、青森陸上競技協会ホームページにて行うこと。

② 申込者は、事前に健康診断を受けるなど自己の健康に十分留意して、「競技中に発生した
傷害、疾病、事故等については、主催者は応急処置を除き一切の責任を負わない」ことを、
承諾の上ご参加ください。

③ 各団体のテント等の設営は、競技場のサイドスタンド及びバックスタンドの芝部分に設営
すること。通路を妨げて設営したり、柵(フェンス)へ取り付けたりしないこと。

④ 競技場内の更衣室は使用してもよいが、休憩場所や控え場所としての使用は禁止する。

⑤ ごみは、各自持ち帰ること。

17 第39回青森県小学生交流陸上競技記録会について

日 時 2020年9月21日(月)～22日(火) 場 所 新青森県営陸上競技場

選考基準 むつ下北地区予選会にて上位8位までに入賞した者、また繰上げて8名を推薦する。

※ 要項等については、青森陸上競技協会ホームページを参照の上、各チームにて申し込むこ
と。

お問い合わせ・新型コロナウイルス感染等の報告先
むつ市陸上競技協会 競技委員長 甲田 義人
電話 090-2360-5106

競技規則

1 競技規則について

本大会は、本年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

練習は指定された練習会場、時間内で実施すること。

- I 競技場のメインスタンド下中央通路での練習は禁止する。
- II Jogは、レーン内のフィールドを使用すること。
- III 競技場の「レーン」の使用区分は原則として次のようにする。
 - ① 周回1・2レーンは中長距離ならびに競歩。
 - ② 周回3・4・5レーンはリレーを含めた短距離。ただし、バトンパスは第2コーナー、第3コーナーのみを使用する。
 - ③ ホームストレート6・7・8レーンは、ハードル競技専用とする。
- IV 競技場でのトラック競技練習は、競技開始30分前までとする。但し、審判の指示により変更もある。
- V 競技場でのフィールド競技練習は、当該審判員の指示により競技開始1時間前から行うことができる。
- VI 競技場のレーン内（走路）での次の行為は、事故につながる危険性があるため禁止する。
 - ① ラダー、ミニハードルなどの道具をレーン上においての練習
 - ② チューブなどで牽引する練習
 - ③ 逆走
 - ④ ドリルやジョグなどの技術練習や準備運動
 - ⑤ 急に立ち止まる行為
- VII トラックを横切の際は、左右を確認し十分に注意して通ること。特に、第4コーナーからホームストレート付近は危険なので注意すること。

3 招集について

- I 今大会は、新型コロナウイルス感染防止に伴い、トラック種目は各スタート位置にて、フィールド種目とも現場招集といたします。
- II 招集時刻は下記の表を基準とする。

トラック競技			フィールド競技		
組	招集開始	招集完了	予決	招集開始	招集完了
1～5	30分前	15分前	予・決	40分前	30分前
6～10	15分前	0分前			
11～15	0分前	15分過			
16～20	15分過	30分過			

III 招集の方法

競技者は出場種目の招集開始時刻がきたらそのスタート場所に集合して、競技者係よりユニフォーム、アスリートビブス、スパイク、商標及び競技場内への持込物品などについて確認を受ける。

IV 招集の留意点

- ① 同時刻帯に2種目兼ねて出場する競技者は、本人が招集時刻前に、招集場所で招集係へ申し出てアスリートビブスを確認してもらい、招集には代理人を立て、フィールド競技場所に行くこと。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、一切の理由に関わらず棄権とする。

4 アスリートビブスについて

- I アスリートビブスは配布されたままの大きさを胸部と背部に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、

胸部または背部の一方でよい。

II トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードをパンツの右やや後方につける。腰ナンバーカードは招集所に準備する。競技終了後、フィニッシュ地点でゴミカゴに入れること。

5 番組編成について

I 予選におけるトラック競技の組合せ及び走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で示す。

II トラック競技の準決勝以降の組合せ及び走路順は、主催者が公平に抽選して決定し、決定次第招集所の掲示板に掲示する。

III トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たとき（以下同タイム者という）は、下記の方法で決定する。

① 100m・200m・400m・100mH・110mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者（チーム）については、細部（電気計時1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。

② 800m・1500m・3000m・5000mの同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。

6 競技について

I スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）。また、競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

II トラック及びフィールド内には、競技者並びに役員・補助員以外は立ち入ることはできない。

III 競技者は、ビデオカメラ・オーディオプレーヤー・トランシーバーや携帯電話もしくは類似した機器を競技区域内で使用してはならない。

IV セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走り抜けること。また、欠場者のレーンはそのままあけておく。

V リレーにおいてのチームの出場者は、同一のユニフォームを着用すること。ただし、新1年生に関してはこの限りではない。

VI リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。（用紙は招集所に準備する）ただし、次の日の早い時間にリレー競技が行われる場合、前日の大会終了時までオーダー用紙の提出に協力すること。

VII リレーで使用するマーカー（粘着テープ）は、各校で用意しレース終了後は各校で撤収すること。

VIII リレー競技において、本競技場におけるレーンに割り当てるバトンの色は次の通りとする。

1レーン：シルバー	2レーン：ブラック	3レーン：レッド	4レーン：ブルー
5レーン：イエロー	6レーン：グリーン	7レーン：パープル	8レーン：ピンク

IX 4×400mRにおける第3・4走者は審判員の指示に従い、前走者が200mスタート地点（黄色旗）を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。

X 走幅跳・三段跳・棒高跳及びやり投に出場する競技者は、助走路の外側に各自が用意したマーカーを2個まで置くことができる。なお、走高跳競技に出場する競技者は、助走路内に各自が用意したマーカー（粘着テープ）を2個まで置くことができる。

XI 三段跳の踏切板から砂場までの距離は男子10m、女子8mとする。但し、天候その他の条件によって変更する場合もある。棒高跳競技に出場する競技者は、支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。ただし、希望する支柱の位置を予め係に申告すること。また、競技開始後に事前に申告し支柱の位置を再変更する場合は、支柱がセットされる前に当該審判員に申し出ること。

XII 競技者が、同時にトラック競技とフィールド競技あるいは2種目以上のフィールド競技に参加する時には、審判長は1ラウンドに一度、走高跳および棒高跳で各試技に一度、競技会に先立って決めた順序によらないで、その試技

を許すことができる。もし、競技者がその後の特定の試技に不在の時、その試技時間が過ぎれば、パス扱いとなる。走高跳および棒高跳においては、事前に申告し無効試技扱いとすることができる。

7 競技用具について

- I 競技者が本大会で使用する用具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者が用意したものを使用すること。
 - ① 競技者個人の器具は、練習用といえども競技区域内に持ち込んで서는ならない。
 - ② 棒高跳競技における各競技者のポール検査は、競技開始前に跳躍場において競技役員が行う。
 - ③ 本大会では投擲物の検定は行わない。

8 スパイクシューズの制限について

- I スパイクの本数は、11本以内とする。
- II スパイクの長さは、9mmを超えてはならない。但し、走高跳及びやり投競技においては12mmを超えてはならない。
- III スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

9 バーの上げ方について

- I 走高跳・棒高跳の高さ及びバーの上げ方は次のとおりとする。
 - ① 高さ及びバー上げ方は、当該審判長が天候その他の条件によって決定する。
 - ② 第1位に同順位者が出た場合の順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳では5cm単位とする。

10 抗議について

- I 競技の結果または行為に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内に、また、次のラウンドが行われる種目ではその結果が発表されてから15分以内に、競技者自身または代理人が口頭で審判長に申し出る。
- II 口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者にかわる責任者が文書と預託金1万円を添えて大会総務に正式な抗議の手続きをとる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

11 競技者の競技場内への持ち込み物品について

競技者は競技場内（練習場も含む）に、企業名、商標名等のついた物品を持ち込む場合は、規定にあったもの以外持ち込んで서는ならない。

12 表彰について

- I 各競技種目の表彰は第8位までとする。今大会は、表彰式は行いません。本部前に準備を致します。
- II リレーは、1～3位まではチームに1枚および個人にも、以下は各チームに1枚の賞状を授与する。

13 その他

- I 救急、救護に関する処置は、メインスタンド下の医務室で行う。応急処置は行うが以後責任は負わない。
- II 各団体のテント等の設営は、競技場のサイドスタンド及びバックスタンドの芝部分に設営すること。通路を妨げて設営したり、柵（フェンス）へ取り付けたりしないこと。競技終了後の設置も認めるが、責任は各自で負うものとする。※強風により、一晩で大量のテントが破損したことがあり注意が必要。
- III 競技場内の更衣室は使用してもよいが、休憩場所や控え場所としての使用は禁止する。
- IV 届けられた遺失物については、大会庶務係で保管する。
- V ゴミは持ち帰りを原則とする。
- VI 応援はスタンドで行うこと。応援に当たっては、競技者や競技運営に支障のないように十分配慮すること。特に、

フィールド競技の進行に支障のないように十分注意すること。

VII 盗難等がないよう持ち物及び貴重品の管理には十分注意すること。

VIII 招集所からスタート地点への移動は、原則とし、スタンドの外を通ること。スタンド前は絶対に通らないこと。

IX 棄権については、棄権届を競技者係に提出すること。

競技会実施に関するガイドライン

むつ市陸上競技協会は、新型コロナウイルス感染拡大防止について日本スポーツ協会と日本陸上競技連盟より示されたスポーツイベント再開に関するガイドラインを基に主催競技会を下記ガイドラインのとおり開催し来場者の安全と感染拡大防止に努める。

〈競技会全般に関することについて〉

- ① 競技会に来場する全ての人（参加者・引率者・競技役員・補助員・観客等）に別紙のチェックリストを事前（事前に確認できない観客は当日の入場前）に確認し、1つでも該当がある場合は、来場を禁止する。
- ② 大会開催前に緊急事態宣言が再発令された場合、または感染拡大の予兆が見られると判断される場合は競技会を中止する。
- ③ 競技役員は原則全員がマスクを着用する。参加者には待機時にはマスク着用を求め、引率者・観客にもマスクの着用を求める。また、常に3密を避け間隔をとることを求める。（一部の競技役員は業務により例外となる場合がある。）
- ④ 来場者にはこまめな手洗い（特にトイレ後・食事前等）を求める。
- ⑤ 感染拡大防止のため、濃厚接触の可能性がある開会式・閉会式・表彰式は実施しない。
- ⑥ 大会終了2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、速やかに本協会に連絡することを求める。（連絡先を大会要項・プログラムに明記する。）
- ⑦ 観客には、入場時に連絡先の確認を行い、参加者・引率者・競技役員と合わせ全ての来場者を把握し、万が一大会終了後2週間以内に来場者から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、速やかに情報を開示し感染拡大を防止する。

〈参加者・競技役員に関することについて〉

- ⑧ 参加者の会場入口、競技役員受付、観客入場ゲート前に消毒スプレーを準備し入場の際は、手指の消毒を求める。
- ⑨ 会場入口と競技役員入口では入場後に体調の変化がある時には申告を頂き随時検温（非接触型の体温計を使用）を実施し37度以上の場合は退場を求める。
- ⑩ 参加者の3密が予想される招集場所では、入場制限等を行い間隔を十分とれるようにする。
- ⑪ トラック種目のスタート前の待機所・フィールド種目の待機所では、待機用ベンチを増量し参加者同士が隣り合わせにならないようにする。
- ⑫ 競技役員が使用する競技役員室は常時開放し業務を行う。
- ⑬ 中長距離種目では、1組当たりの人数を通常より減らし濃厚接触を極力回避する。
- ⑭ 握手・ハイタッチ・ハグ・つば吐きを禁止する。また、ゴール後の倒れこみの自粛を求める。
- ⑮ 参加者には、持ち込み物品の管理を徹底し、特に飲料や衣類、使用済みのテーピング等直接接触したものを放置しないように求める。
- ⑯ タオルや衣類（ボアコート等）の共用を禁止する。
- ⑰ 弁当・飲料の食べまわし、飲みまわしを禁止する。
- ⑱ ゴミは持ち帰るものとし、飲み残しの飲料を放置しない・鼻水や唾液等がついたゴミはビニール袋に

密閉する等の管理を求める。

〈応援・観戦者に関することについて〉

- ⑲ 参加者の会場入口、競技役員受付、観客入場ゲート前に消毒スプレーを準備し入場の際は、手指の消毒を求める。
- ⑳ 会場入口と競技役員入口では入場後に体調の変化がある時には申告を頂き随時検温（非接触型の体温計を使用）を実施し37度以上の場合は退場を求める。
- ㉑ 応援・観戦は、ホームストレート側スタンドのみとなります。
- ㉒ 握手・ハイタッチ・ハグ・つば吐きを禁止する。
- ㉓ 弁当・飲料の食べまわし、飲みまわしを禁止する。
- ㉔ ゴミは持ち帰るものとし、飲み残しの飲料を放置しない・鼻水や唾液等がついたゴミはビニール袋に密閉する等の管理を求める。
- ㉕ 観客席では、間隔をとって座ることを求め、大声での応援・集団応援は禁止する。

※上記を大会要項・本協会ホームページに記載し、大会当日は、場内放送にて積極的に周知する。